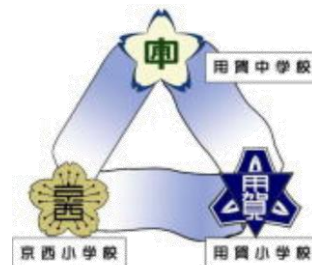


(1) ようがの学び舎 世田谷区立用賀中学校の教育目標

- ・自立 (自ら学び、考え、行動できる生徒)
- ・敬愛 (責任と思いやりのある生徒)
- ・精励 (健康で、力強く生きる生徒)

(2) ようがの学び舎教育目標 (用賀中学校・京西小学校・用賀小学校)

舎訓 責任・信頼・誇り
やさしさと豊かな心
学ぶ意欲と知力の充実
強い体と健康な生活



(3) 令和7年度の重点目標

世田谷「キャリア・未来デザイン教育」を軸に、社会や環境の激しい変化や多様性に柔軟に対応できる力や、自己のめざす理想像に近づく力を育成するために、めざす学校像、めざす生徒像を掲げ、特に以下3つ基本方針を示す。

めざす学校像

- ・生徒が主人公である学校
- ・地域と共に歩む学校

めざす生徒像

- ・自立した学習者 —ゴールイメージをもてる生徒—
- ・人の心の痛みがわかる生徒

(4) 学校の教育目標並びに重点目標を達成するための基本方針

1. 生徒が自ら決定をできる学びの場面を通して、生徒の主体性の伸長を図る。
2. 自尊感情や自己肯定感を高める指導を通して、「自分のよさ」を発揮できる学校づくりを進める。
3. 地域等の教育資源を活用し、キャリア教育、学ぶことの意義や、協働することの大切さを実感し、それぞれの思い描く未来を実現させる力をもつ生徒を育成する。

(5) 学校の教育目標並びに重点目標を達成するための数値目標

- 先生は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。の項目では肯定率を90%以上にする。
- 私は、キャリア・パスポートに書いた目標について、考えて行動している。の項目では肯定率を80%以上にする。
- 本校は、子どもや保護者が相談しやすい。の項目では肯定率を80%以上にする。
- 私は、自己を適切に理解し、責任をもって役割を果たしている。では肯定率を85%以上にする。
- 生活や学習のさまざまな場面で、自ら選択し決断することを大切にしている。(新設項目)の項目では肯定率を85%以上にする。

(6) 学校の教育目標並びに重点目標を達成するための具体的手立て

◎「キャリア・未来デザイン教育」の実現に向けて

- ・ 全ての授業を通し、子ども一人一人が社会の担い手として自らが課題に向き合い判断して行動し、それぞれが思い描く未来を実現できる「キャリア・未来デザイン教育」を行う。
- ・ キャリア教育を充実させるため、PTAや地域、近隣の高校・大学と連携し、職業講話や職業体験等を、PDCAサイクルを組み込みながら、より深い学習ができるようを行う。
- ・ 進路に関する広報活動の推進、PTAや学校支援地域本部と連携した研修会の実施

具体的に関連する教育活動

- 1 「非認知能力の向上」の実現に向けて今未来手帳の活用推進
- 2 キャリア・未来デザイン教育の実現
- 3 進路に関する広報活動の推進
- 4 PTAや学校支援地域本部と連携した研修会の実施

◎教育DXの推進に向けて

- ・ 各教科等において、基礎・基本の学力、確かな学力の定着と伸長をめざすため、一人一人の学力に応じた個を活かす学指導を充実させ、誰一人置き去りにしない教育をめざす。自ら学ぶ姿勢を定着させるため、一人一台のタブレットを使用した、調べ学習や学習用アプリ、家庭学習支援等の結び付けを、教育DXとしての有効性を検証し、改善しながら行う。

具体的に関連する教育活動

- 1 ICTの活用や図書館活用による主体的・協働的学習の推進（教育DXの推進）
- 2 発表やレポート・ノート指導による思考力・表現力・判断力育成
- 3 タブレットも活用した家庭学習の定着
- 4 「せたがや探究的な学び」の推進
- 5 特別の教科「道徳」授業の充実

◎多様性を尊重しながら共に学び、共に育つ教育の推進に向けて

- ・ 毎日を過ごす学校生活が楽しく充実したものになるように、「人の心の痛みがわかる人間になろう」をモットーとして、特別の教科「道徳」授業の充実、自尊感情や自己肯定感を高める指導を通して、いじめのない安心で安全な学校づくりを進める。
- ・ 豊かな人間性を養うために、豊かな心・豊かな感性・社会の一員としての自覚を培う。そのために、生徒の一人一人の発達段階に応じたきめ細かな指導を行う。人権尊重の精神に基づき「道徳教育」「インクルーシブ教育」の充実を図ることや、自尊感情や自己肯定感を高める指導、また障がい者や性的指向等の多様性を理解し尊重する、豊かな心を育成する。
- ・ 全ての生徒に「非認知能力」を身に付けさせるよう教育活動を行う。特に、「他者につながる力」については学校における様々な集団活動を有効に利用する。
- ・ 生徒の様子を注意深く見守り、保護者・地域・外部機関と連携し、不登校の未然防止に努める。また、休みがちな生徒に対しても別室利用、Webを利用した授業配信や学習用アプリ等、様々な学びの機会を提供する。不登校
- ・ いじめの予防のため、各種講演会を実施。また、各学期のアンケートも活用して生徒の様子をきめ細かに観察し、学年や学校、関係機関がチームとして対応し、早期発見と早期解決を目指す。

具体的に関連する教育活動

生活指導の充実

- 1 「人の心の痛みがわかる人間になろう」をモットーとした生活指導の推進
- 2 早期発見・対応、組織対応の遵守
- 3 教育相談の充実とスクールカウンセラーや関係機関との連携の強化

- 4 インクルーシブ教育の充実と支援体制強化および教員研修の推進
- 5 生徒会による健全な校風づくりの推進
- 6 生徒のための相談の手引きの活用推進

◎地域社会と協働した教育の推進に向けて

- ・ 「ようがの学び舎」として「これからの時代に必要な資質・能力」の育成のために必要な力を重点化し、「どのように学ぶか」を次の4点と考え、その力の育成を図る。
 - (1) 記録し まとめる力 (2) 計画し 実行する力
 - (3) 協力し 話し合う力 (4) 説明し 発表する力
- ・ 地域等の教育資源を活用し、キャリア教育を行うことにより、学ぶことの意義や、協働することの大切さを実感し、それぞれの思い描く未来を実現させる力をもつ生徒を育成する。

具体的に関連する教育活動

- 1 全教科・全領域における「ようがで育てる4つの力」の育成推進
- 2 学校運営委員会のさらなる活性化
- 3 地域行事への生徒ボランティアの拡大
- 4 学校支援地域本部との連携強化
- 5 おやじの会、YCC 等地域関係団体との連携強化

◎学校危機管理体制の充実に向けた取り組み

- ・ 震災時の迅速な対応力を高めるため震災時初動期マニュアルの周知・徹底を図るとともに、避難訓令・不審者対応訓練の徹底を行い、安全意識の向上に努める。
- ・ 施設・設備点検の励行により安全な教育環境を維持し、地域と連携した避難所運営委員会との協力を強化する。
- ・ YCC と連携した安全指導を実施し、生徒の危機管理意識を育むとともに、サービス事故防止の徹底と研修を推進し、教職員の服務規律を徹底することで、安全で信頼される学校運営を目指す。

具体的に関連する教育活動

- 1 震災時初動期マニュアルの周知・徹底
- 2 避難・不審者対応訓練の徹底
- 3 施設・設備点検の励行
- 4 避難所運営委員会との連携・協力
- 5 YCC と連携した安全指導の実施
- 6 サービス事故防止の徹底と研修実施
- 7 保護者のための相談の手引きの普及

◎「学校における働き方改革」の推進に向けて

- ・ 働き方改革が、教育の効果や質の向上の観点で必要なものであることについて、教職員への理解や保護者・地域への周知を進めていく。授業改善とカリキュラム・マネジメントを軸として据え、これまで慣習的に行ってきたものについて見直し、必要な改善を行っていく。
- ・ 教育DXと働き方改革を関連させて推進し、ペーパーレスや採点、集計の自動化など職務環境を改善することにより、効率的に事務処理などを行えるようにし、生み出した時間で生徒とよりよく向き合えるようにする。休業中の在宅勤務などでも活用する。
- ・ 学習・生活場面や部活動等で、地域人材の活用をより積極的に進める。これにより、配慮の必要な生徒へのより細やかな支援と、学級の学習指導の円滑化の両立を図る。また部活動についても技術指導や事務処理等の面で地域人材を活用し、教員の補佐と部活動充実の両立を図る。